

ビーム 中部	愛知	平成 23 年 6 月 1 日 No.2011-1
	岐阜・石川	公益社団法人
三重・福井	日本放射線技術学会	
静岡・富山	中部部会	
	事務局：〒920-8641	金沢市宝町 13-1
		金沢大学附属病院放射線部内
		TEL:076-265-2010
		FAX:076-234-4311

巻頭言

放射線技術向上をめざして



中部部会 副会長 國友博史

この度の東日本大震災により、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、現在もなお原子力事故の終息がみえず、大震災に加え、さらに大きな影を落としている状況に、憂慮しております。

事故を機に、原子力事故による被ばくに留まらず、医療被ばくに関する報道等も目にする機会が増え、国民の放射線被ばくに対する関心は高まりました。そして、放射線に携わるものとして、また、放射線を扱うプロフェッショナルな一職種として、的確な情報を伝える責任があります。一般の方からの問い合わせについては、日本放射線技術学会の防護分科会ホームページを参考にして頂き、適切かつ、統一された情報提供にご協力くださるようお願いいたします。

日本放射線技術学会は平成 23 年 3 月より、公益社団法人として認可され、今まで以上に、より高い専門技術と知識を診療行為などを通して、社会に貢献をしていく必要があります。そして中部部会としては、その一端を担うために、『部会学術セミナー』や 9 つの研究会で企画される『技術セミナー』を数多く開催しますので、多くの方にご活用頂き、さまざまな議論を通して、中部部会の会員の皆様の技術向上の場となればと願っております。これ

らの情報は随時、中部部会ホームページに掲載されますので、参考にしてください。さらに、ホームページよりメールマガジンの登録をすれば、開催案内を電子メールで受け取ることができ、常に最新の情報を得ることができますので、ぜひ、メールマガジンに登録して頂き、ご活用ください。

今年度の中中部部の事業は、まず、11月12、13日に富山国際会議場にて第4回の中中部放射線医療技術学会大会が開催されます。長田孝光(黒部市民病院)大会長、森光一(富山大学附属病院)副大会長のもと、日本放射線技術学会中部部会と中部地区7県の技師会による合同での開催になります。大会が盛り上がるよう多くの演題を出して頂き、ご参加ください。次に、『部会学術セミナー』として、年間2回の開催を予定しています。第1回の部会学術セミナーは6月4日に金沢大学病院にて開催されました。大変多くの方に参加して頂き、ありがとうございました。セミナーの内容としては、1.福島第1原発事故における技術学会の対応 中部部会部会長 鈴木 昇一先生、2.メディカルイメージマイニングの取り組み 福井大学パナソニック医工学教授 清野正樹先生、3.胸部放射線画像に写る基本構造 福井大学名誉教授・特命教授 伊藤春海先生の講演がされました。すべての講演は、興味深く、大変参考になりました。特に、伊藤先生の講演では、一般撮影やCTの放射線画像と実際の標本が並べて示され、我々、診療放射線技師が必要とする放射線解剖学や臨床現場で必要とされつつある読影技術について、とても分かりやすく、ご講演して頂き、大変勉強になりました。2回目の部会学術セミナーは、1月頃に名古屋にて開催を予定しておりますので、こちらも皆様の多くの方の参加を願っております。また、『共催セミナー』として、画像分科会共催のDRセミナー(静岡)、学術委員会及び、医療情報分科会共催の情報活用セミナー(名古屋)、医療安全対策小委員会共催の医療安全セミナー(金沢)を開催いたします。これらのセミナーにも多くの方の参加をお願いします。最後に、技術セミナーに関しては、9つの研究会により、例年、年間40回以上も開催され、延べ2000名以上の方が参加している中部地区を支えているものです。これらの開催に関する情報は、中部部会ホームページに掲載されますので、参照して頂き、ご参加をお願いします。これだけ多くの部会学術セミナーや技術セミナーなどの研修会が開催される地区は、中部部会以外にありません。会員の方が数多く参加することで、中部部地区のさらなる活性化と放射線技術の向上によって、より適切な医療の提供がなされることを期待します。

会告

間もなく演題募集が始まります！

第4回中部放射線医療技術学会大会開催に向けて

第46回日本放射線技術学会中部部会学術大会

大会長 森 光一

2011年3月11日14時46分18秒、日本観測史上最大のマグニチュード9.0という巨大地震が発生し東日本を襲い、日本のみならず世界中に衝撃を与えました。地震と津波を受けた東京電力福島原発第一発電所では今もなお復旧対策が講じられています。そして一般の人々には聞き慣れない、しかし我々には非常になじみのあるシーベルトやベクレルの単位がついた数値が毎日テレビから流れています。接頭辞もマイクロがいつの間にかミリに変わり、ちょっと数値に敏感な一般の人々にもその変化を感じ取られた方が多かったのではないかと思います。さらに1時間当たり・・・と付け加えられますと、年間に換算して？・・・！！と、考えてしまうのは放射線を生業にしている我々の性でしょうか。

この震災の影響で、今春の第67回総会学術大会はWEB開催となりました。本大会も開催を危ぶむ声が囁かれましたが、福島原発の復旧作業同様に開催準備はその手を止めることなく進めております。幸い、震災の直接的な被害は開催地であるここ富山では聞かれていません。

さて、今年で第4回を迎えますこの中部放射線医療技術学会大会は、技術学会中部部会と中日本地域の技師会が手を結ぶことにより、放射線医療に携わる技師や技術者の大多数が参加できる大会となっています。今回は学会の原点を見つめ直し、「新技術を切り拓く冒険者たち」、すなわち新しい技術を生み出すための強い志や熱い情熱を持っている人々を大会テーマとしました。シンポジウムでは、開発者の方々の熱き思いとその成功に結び付いたきっかけにどこまで迫れるか、現在思案中です。また、特別講演には、CTで

検出困難な少量の急性期くも膜下出血(警告出血)がMRIを用いたFLAIR法で検出可能であることを世界でいち早く示唆された富山大学医学薬学研究部准教授 野口 京先生に「ニューロ領域の画像診断(仮)」と題してお話いただきます。市民公開講座には、救命救急医療における「脳低温療法の開発」が世界的に評価されている、富山ご出身の日本大学大学院総合科学研究科教授 林 成之先生をお招きする予定です。林先生は北島康介選手をはじめ、北京五輪日本競泳チームのメンタルトレーニングでその成果を発揮されたことでも知られ、その著書には「勝負脳の鍛え方」「脳に悪い7つの習慣」などがあります。そしてもうひとつ本大会の特徴をあげるとするならば、将来を担う中学生、高校生が市民公開講座やシンポジウムにも参加しやすいよう企画していることです。大会テーマである「新技術を切り拓く冒険者たち」になり得る学生達が、新たな分野に興味を持つ良い機会になればと思っています。

富山は、古くは安田財閥の創始者である安田善次郎や京浜工業地帯の形成に寄与し「日本の臨海工業地帯開発の父」と呼ばれた浅野総一郎などの実業家をはじめ、その志を胸に大海原へ船出した多くの先人を輩出しています。近年では、皆様ご存知のノーベル化学賞を受賞された田中耕一氏は学会会場から数100mの所にご実家がありますし、医学生理学賞の利根川進博士も少年時代を富山で過ごされました。このように北アルプス立山連峰の雄姿に抱かれ若者が夢を育むこ富山から、一人でも多くの中学生、高校生の胸に将来放射線医療を支えていこうと新たな志が灯されるならば、本大会は大成功だと今から皮算用をしております。



富山地方鉄道富山都心線(環状線)の路面電車セントラムと国際会議場



演題募集のお知らせ

第4回中部放射線医療技術学術大会が、この秋に富山県富山市にて開催されます。つきましては一般発表演題を募集いたしますので、下記応募要項に従って奮ってご応募いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

会期：平成23年11月12日(土)～13日(日)

会場：「富山国際会議場 大手町フォーラム」

第4回中部放射線医療技術学術大会演題応募要項

・演題申込資格

発表者(演者)は、日本放射線技術学会正会員または学生会員、あるいは日本放射線技師会会員に限ります。非会員の方が発表される場合には、あらかじめ両団体のどちらかの会員登録が必要です。

・演題申込方法

演題登録は、中部放射線医療技術学術大会ホームページよりオンライン登録方式でおこないます。< <http://ccrt2011.umin.jp/> >

・募集期間

平成23年7/5(火)から8/10(水)まで

・発表抄録について

発表抄録は、400字以内です。発表内容には図表は使用せず、目的・方法・結果・考察ごとにわかりやすく記述してください。

・演題の採否、発表日時について

応募演題の採否、日時の決定は、プログラム委員会を経て大会長に一任させていただきます。演題採用通知は、10月初旬ごろまでにメールにて通知いたします。

・演題登録に関する問い合わせ

第4回中部放射線医療技術学術大会事務局演題登録担当

< ccrt-office@umin.ac.jp >

技術セミナーのお知らせ

CT研究会

第 12 回 CT 立山セミナーのご案内

テーマ:「64 列以上時代の基本テクニック;プロトコルの標準化」

恒例の CT 立山セミナーも今回で 12 回目を迎えました。今回は 64 列以上の機種をターゲットに、各施設でのプロトコルで撮影されたファントムの画質、被ばく線量などを調査し、それを基に 64 列以上でのプロトコルに関する標準化に向けて一石を投じたいと思います。また、今回は 64 列以上で最もその恩恵を受けた冠動脈 CT について、時間分解能に関して金沢大学の市川先生に、撮影テクニック等を高瀬クリニックの佐野先生にご講演いただく予定です。更に、イブニングセミナーでは「CT を語る」と題して藤田保健衛生大学の井田先生(予定)にご講演いただき、その後、熱く CT について語り合いたと思います。初夏の立山山麓の深緑と温泉で、心も体もリフレッシュしましょう。どうか普段着でお越しください。

日 時 平成 23 年 7 月 2 日(土), 3 日(日)

会 場 グランドサンピア立山 TEL 076-481-1126

募集人数 50 名程度(人数多数の場合は先着順とさせていただきます)

参加費 16,000 円(1 泊 2 食, 会場費, 入湯税, 資料代等)

集合場所 JR 富山駅北口 12:00(送迎バスあります。事前にご連絡願います。)

自家用車の場合は現地に 13:00 までをお願いします。

応募方法 所属, 氏名, 連絡先電話番号, 本人メールアドレス, 集合場所を明記のうえ, 全て電子メールにてお申込みください。

申込先 E-mail chubu_ct@hotmail.com

(確認メールを送りますので 1 週間経っても返事がない場合は下記の問合先にご連絡ください。)

申込締切 平成 23 年 6 月 17 日(金)16:00 まで

プログラム1日目

シンポジウム

プロトコルの標準化(頭部,胸部,心臓,腹部)

CT研究会世話人

技術講演

1 冠動脈 CT の時間分解能について

金沢大学 市川 勝弘

2 冠動脈 CT 撮影の基礎知識と撮影テクニック

高瀬クリニック 佐野 始也

イブニングセミナー

CTを語る

藤田保健衛生大学病院 井田 義宏

2日目

メーカーピックス

学位取得記念講演

その他 肺がん CT 検診認定技師の参加者には、ポイントが付きます。

問い合わせ先 富山大学附属病院 放射線部 伊藤 一

E-mail hajime@med.u-toyama.ac.jp

画像研究会

第45回 画像研究会のご案内

下記の内容で開催し、最新の情報をお届けしたいと考えています。会員・非会員を問わず、多数の参加をお待ちしています。

プログラムが確定次第、中部部会ホームページに掲載しますので、ご参照下さい。

テーマ;「ディテクタ特性の異なる FPD を使いこなそう！」

FPD ディテクタの物理特性について

各メーカーによる技術講演(4社予定)

日時;9月10日(土) 14:30~17:30

会場;金沢大学医薬保健学域保健学類 4号館2階会議室(4202室)

<http://mhs3.mp.kanazawa-u.ac.jp/others/map.html>

第 36 回中部部会乳房画像研究会(福井県がん検診精度管理委員会、福井県外科医会共催)

日 時:平成 23 年 7 月 30 日(土) 13:30 ~ 17:45

会 場:福井県医師会館 4F 会議室

内 容:

13:30 ~ 14:00 【講演1】

「福井県における乳がん検診の現状について」

福井県済生会病院 乳腺外科 笠原 善郎 先生

14:00 ~ 14:30 【講演2】

「マンモグラフィの基礎」

福井県立病院 放射線室 西出 裕子

14:30 ~ 15:30 【講演3】

「ポジショニングのコツとポイント」

聖路加国際病院 放射線部 小山 智美 先生

15:45 ~ 17:45 ポジショニングの実習

講師:聖路加国際病院 放射線部 小山 智美 先生

福井県立病院 放射線室 西出 裕子

本講習会は、事前申し込みが必要です。HPの研究会案内に添付の申込書にご記入いただき、FAXでお申し込みください。

第 37 回中部部会乳房画像研究会(予定)

日 時:平成 24 年 1 月 28 日(土)

会 場:東海中央病院 大会議室

テーマ:デジタルマンモグラフィ

愛知県放射線治療研究会

日時:平成 23 年 9 月予定

場所:愛知県がんセンター中央病院

内容:未定

岐阜県放射線治療研究会

岐阜県放射線技師学術大会内開催

日時:平成 23 年 6 月 19 日(日)15:15 ~ 15:45

場所:高山市民文化会館

内容:会員発表

座長:未定

1. 放射線治療計画用 CT 撮影条件の変化による電子密度変換テーブルへの影響
大垣市民病院 藤原宏 先生
2. OBI システム(リニアック搭載型 kV イメージングシステム)による CBCT の画質評価
~ [第1報]高コントラスト分解能の評価 ~
中濃厚生病院 伊佐次範也 先生
3. OBI システム(リニアック搭載型 kV イメージングシステム)による CBCT の画質評価
~ [第2報]低コントラスト分解能の評価 ~
中濃厚生病院 渡邊映之 先生

三重県放射線治療研究会

日時:平成 24 年 2 月予定

場所:未定

内容:未定

静岡県放射線治療研究会

日時:平成 23 年 9 月予定

場所:浜松駅周辺

内容:未定

日時:平成 24 年 3 月予定

場所:静岡県東部地区

内容:未定

北陸放射線治療研究会

日 時:6月18日(土)午後2時～

場 所:富山大学附属病院 臨床講義室2

内 容:体幹部定位照射の実際 午後2時～4時

1)Abches を用いた Clinac ix による肺定位放射線治療

酒井 幹緒 富山大学附属病院 放射線部

2)Abches とkV 透視を併用した Synergy による肝腫瘍定位放射線治療

上田 伸一 金沢大学附属病院 放射線部

3)Abches を用いたノパリスによる体幹部定位放射線治療

太郎田 融 浅ノ川総合病院 定位放射線外科センター

4)Tomotherapy による肺定位放射線治療

猪田 康二 福井県済生会病院 放射線技術部

放射線治療関連機器紹介 午後4時～

1)ExacTrac Xray

小島 健吾氏 ブレインラボ社

2)IGRTのQCツール

宮沢 正則氏 アールテック社

中部放射線治療研究会

日時:11月12日

場所:富山国際会議場

内容:外部照射のガイドラインとQA(仮題)

学術講演会 平成 23 年度 第 2 回情報活用セミナー

学術委員会, 医療情報分科会, 中部部会共催

近年、医療機関へのPACSの導入やフィルムレス運用の普及拡大と共に、CD-Rなどの可搬型媒体を用いた医用画像情報の連携が一般的な運用として定着してきています。その一方で画像情報をPACSに取り込めないなどの問題が顕在化しています。例えば、DICOMやIHE PDI(Portable Data for Imaging)への準拠など技術的な問題や、大量の画像情報が持ち込まれるために診療が遅延するといった運用的な問題などにより医療機関に混乱が生じています。そこで、中部部会では学術委員会、医療情報分科会と共催で、これら問題と対策の理解を深めるための講演会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

日 時：平成 23 年 8 月 27 日(土) 12:30 開場 13:00～17:00

会 場：エーザイ株式会社名古屋コミュニケーションオフィス

名古屋市東区泉 2 丁目 13-23 [地下鉄「高岳」1 番出口右(北向き)徒歩 3 分]

テ ー マ：CD-R による画像情報の施設間連携

参 加 費：会員 無料, 非会員 1,000 円

プログラム：1) DICOM から CD-R 連携の問題点を理解する。

吉村 仁(コニカミノルタMG(株))

2) IHE PDI から CD-R 連携の問題点を理解する。

奥田 保男(放射線医学総合研究所)

3) ガイドライン「患者に渡す医用画像 CD についての合意事項」について

法橋 一生(静岡県立総合病院)

4) CD-R の運用事例 豊橋市民病院

原瀬 正敏(豊橋市民病院)

5) CD-R の運用事例 東北大学病院

坂本 博(東北大学病院)

* 演題、演者は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承下さい

申込方法:メールにて事前申込

申込,お問合せ先:静岡県立総合病院 情報企画室 法橋 一生

e-mail : jsrt.chubu.mi@gmail.com

Tel:054-247-6111(内線 2052)

**超音波画像
研究会**

第46回中部超音波検査フォーラム開催

日時:平成23年7月3日(日) 9:25~16:30(受付9:00~)

場所:KDX 名古屋ビル7F 名古屋市中区栄4丁目5-3

定員:30名

概要:初心者向け 腹部エコー実技講習会1日コース 受講料3000円

対象者:初心者 エコーに興味がある方

第47回中部超音波検査フォーラム開催

日時:平成23年7月30日(土) 14:00~17:30(受付13:30~)

場所:金沢大学 宝町・鶴間キャンパス 医学類教育棟

定員:125名

概要:初心者レベルアップ講義講習会 定員125名 受講料1500円

テーマ:超音波検査のココ

「検査の匠はココをみている!ココをみせる!」

第48回中部超音波検査フォーラム開催

日時:平成23年7月31日(日) 9:30~16:30(受付9:00~)

場所:金沢大学 宝町・鶴間キャンパス 医学類教育棟

定員:66名

概要:初心者向け実技講習会1日コース 受講料:3000円

腹部エコー 定員54名

血管エコー(頸動脈、下肢動脈・下肢静脈)12名

放射線防護 研究会

放射線防護研究会の予定

東日本大震災による福島原発事故の影響は中部ブロックの私たちにも及んでいます。事故発生後、放射線安全管理が実学であることを肌身で感じています。研究会として取り上げるべきテーマが多岐にわたり、現時点で詳細をお伝えすることができません。現場で活動された方の声や放射線量の整理など、具体的になり次第中部部会HPでご案内いたします。臨床現場で役に立つ測定 & 推定法も企画いたします。今しばらくお待ちください。

事務局からのお知らせ

身近にインターネット環境が整備されていない会員の方に対してのビーム中部の郵送サービスは、継続申込みの手続きをお取りいただいた場合のみ継続されます。

郵送配布希望の方は改めて本紙(2011-No.1)と同封のハガキにて6月末までに事務局にお申込ください。(郵送は発行日より1週間程度遅れます)

中部部会事務局の連絡先
〒920-8641 金沢市宝町 13-1
金沢大学附属病院 放射線部内
公益社団法人 日本放射線技術学会中部部会
TEL: 076-265-2010
FAX: 076-234-4311
E-mail raddiv@med.kanazawa-u.ac.jp

中部部会ホームページ

URL : <http://jsrt-chubu.org/index.cgi>

会員情報の変更は技術学会本部のホームページ(<http://www.jsrt.or.jp/>)の入会案内からお願いします。

編集後記(事務局より)

2011年度のビーム中部 第1号のお届けです。4月から新体制になりました。中部部会の皆様によりいっそうお役に立てる部会運営を心がけていきますのでよろしくお願いいたします。

公益社団法人 日本放射線技術学会
中部部会
ビーム中部 2011年第1号
発行：鈴木 昇一
編集：大橋 一也